

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2020年12月17日(木)
 NO. 1126号
 本号4頁

長射程巡航ミサイル開発 やはり「敵基地攻撃」のため??
「用途や目的を明確に」と与党内からも意見

政府が、ミサイル阻止に関する新たな方針に、長射程の巡航ミサイルの開発を盛り込むことをめぐり、与党内からも「敵基地攻撃能力」の保有につながらないよう用途や目的を明確にすべきだという意見が出ており、政府としては、丁寧に説明し与党側の理解を得たい考えです。

政府は、ミサイル阻止に関する新たな方針を今週にも閣議決定する方針で、新型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の代替策となる新型イージス艦2隻の建造に加え、敵の射程圏外から攻撃できる長射程の巡航ミサイル「スタンド・オフ・ミサイル」の開発を盛り込むことにしています。

具体的には「自衛隊員の安全を確保しつつ、わが国への攻撃を効果的に阻止する必要がある」として、陸上自衛隊の「12式地対艦誘導弾」の射程を大幅にのばし、護衛艦や戦闘機からも発射できるようにする計画です。

これについて、自民党では「敵基地攻撃能力」と呼んでいた相手領域内でも弾道ミサイルなどを阻止する能力の保有について踏み込んだ議論を行うべきだとする主張がある一方、公明党内からは「『敵基地攻撃能力』と誤解されないよう、用途や目的を明確にすべきだ」という意見が出ています。政府としては「敵基地攻撃能力」の保有が目的ではなく、相手領域内でのミサイル阻止能力については「抑止力の強化について引き続き検討を行う」という表現を閣議決定に盛り込むことを丁寧に説明し、与党側の理解を得たい考えです。

米軍基地 12ヵ所返還 韓国政府発表

韓国政府は11日、米国と在韓米軍地位協定合同委員会を開き、ソウル市内の竜山基地の一部を含む米軍基地12ヵ所の返還で合意したと発表しました。返還基地の総面積は約146万平方メートル。また、対立していた環境汚染浄化費用を韓国政府がいったん負担し、今後の話し合いを継続することになったとのことです。

2000年代初め、当時の盧武鉉(ノ・ムヒョン)政権は米国と、米軍基地の移転・再配置や80ヵ所の基地返還で合意。今回の返還合意で、残りは12ヵ所となりました。

今回返還される竜山基地内の施設は、運動場、ソフトボール競技場の2ヵ所で約5万平方メートル。公園などの跡地利用が計画されているとのことです。

日本宗教者平和協議会らが呼びかけ 宗教者306人が共同声明
沖縄戦の遺骨今も眠る土を新基地埋め立てに使うな!

名護市辺野古の米軍新基地建設で、政府が沖縄本島南部から埋め立て土砂の採取を計画していることに反対する宗派を超えた宗教者が10日、共同声明を発表し、国会内で記者会見しました。

この問題は、防衛省が4月に公有水面埋立法に基づく設計変更を沖縄県に申請し、埋め立て用土砂の採取地に沖縄本島南部を追加したものです。本島南部は沖縄戦の激戦地で、いまでも戦死者の遺骨が多数収集されています。

共同声明は「遺骨をないがしろにすれば、死者の尊厳を踏みにじることになるでしょう。…戦争で命を奪われた方々の遺骨を軍事基地建設に利用しないでください」と強調。辺野古新基地建設のために「沖縄戦激戦地の土砂使用計画をただちに撤回し、沖縄戦犠牲者の遺族の方々に謝罪することを菅首相に強く求めるものであります」としています。

会見には8人の宗教者が出席し「宗教者が先頭に立って、この悲しみ、怒りを分かち合う必要がある」（金性済＝キム・ソンジェ＝日本キリスト教協議会総幹事）、「ウチナンチュー（沖縄人）は死んだ後もいじめられる。愚弄としか言えない」（平良愛香・平和を実現するキリスト者ネット事務局代表）などと訴えました。

共同声明は、日本宗教者平和協議会、日本カトリック正義と平和協議会、平和をつくり出す宗教者ネットなど6団体が呼びかけ、賛同は16団体、306人に広がっています。

訴えを却下した那覇地裁判決を不服として、沖縄県が控訴

普天間基地の辺野古への移設工事をめぐり県の埋め立て承認撤回を取り消した国土交通大臣の判決は違法だとして沖縄県が国を訴えた裁判で、沖縄県は11日、訴えを却下した那覇地裁の判決を不服として控訴しました。

裁判は沖縄県に訴えを起こす資格、いわゆる「原告適格」があるかが焦点となりましたが、那覇地裁は沖縄県の訴えは裁判の対象にはならないとして具体的な審理に入ることなく、先月27日、沖縄県の訴えを却下していました。

玉城知事は「国側は判決の正当性を一切示さず、裁判所も何の検証もしていない。改めて実体審理を行うことを求めたい」とコメントしています。

菅内閣支持率が急落 毎日調査では17ポイントも！ 無策のコロナ対策に国民怒り

菅内閣の支持率が急落しています。無策なコロナ対策や日本学術会議会員任命拒否、元農相の吉川貴盛衆院議員らの鶏卵汚職事件など、国民は菅政権に怒っています。

① 共同通信社の5、6の両日に実施した世論調査では、支持率12.7ポイント減

菅内閣の支持率が50.3%となり、前回11月の調査から12.7ポイント急落。不支持は32.8%で、13.6ポイント上昇。内閣支持率が10ポイント以上減少したのは、安倍内閣の2017年6月の10.5ポイント（55.4%→44.9%）以来です。

政府の新型コロナ対応について「評価しない」は55.5%で、「評価する」の37.1%を15ポイント以上上回っています。今回の調査で初めて逆転。「Go To Travel」の対応について、48.1%が全国一律に一時停止すべきだと答え、対応が妥当とした人は11.6%に留まりました。

② JNNでは11.5ポイント下落 12月5日

菅内閣の支持率は先月より11.5ポイント下落し、55.3%。一方、支持できないという人は12.9ポイント増加し、41.1%。2013年12月調査以来7年ぶりの支持率の下げ幅です。

新型コロナ感染防止に向けた政府の取り組みについて、「評価する」は39%、「評価しない」は49%と「評価しない」が上回りました。「桜を見る会」の前夜祭をめぐり、安倍事務所が費用の一部を補填した疑いに関して、菅総理に「説明責任がある」が54%、「説明責任はない」が37%でした。

③ 読売新聞社では、支持率8ポイント低下 12月4～6日

菅内閣の支持率は61%、前回（11月調査）の69%から8ポイント低下。不支持率は27%（前回22%）に上昇。「Go To Travel」事業について、「継続する方がよい」は21%。「いったん中止する方がよい」57%と「やめる方がよい」20%を合わせ、8割近くが否定的な見方を示しました。政府の新型コロナ対応全般の評価は、「評価しない」が49%（前回39%）に上昇し、「評価する」の42%（同56%）と逆転しました。

④ 毎日新聞 12月12日 17ポイント下落

菅内閣の支持率は40%。11月の前回調査の57%から17ポイント下落した。不支持率は49%（前回36%）で、菅内閣発足後、不支持率が支持率を9%も上回りました。

コロナウイルス対策について、「評価する」は14%、前回から20ポイントも下落。「評価しない」は62%（前回27%）と倍以上に増加しました。

⑤ NHK 12月11日から3日間 14ポイント下落

菅内閣を「支持する」は、先月のより14ポイント下がって42%、「支持しない」は、17ポイント上がって36%。新型コロナウイルスをめぐる政府の対応について、「大いに評価する」が4%、「ある程度評価する」が37%、「あまり評価しない」が40%、「まったく評価しない」が16%でした。

各地のとくみ

兵庫 12月8日太平洋戦争の惨禍を忘れない 昼パレードと赤紙配り

1941年12月8日、日本陸軍が未明にマレー半島東北端に上陸して英印軍と交戦開始、日本海軍もハワイのオアフ島にあるアメリカ軍基地に対する奇襲攻撃（真珠湾攻撃）開始……。この日から1945年8月広島・長崎原爆投下や敗戦まで空前絶後の戦争惨禍となりました。



三宮マルイ前では兵庫県母親連絡会が「赤紙」を配り、若者達に「この紙一枚で戦争に行かされました」などと訴えました。

東遊園地からの恒例昼パレードも同時刻に三宮センター街で行進、「国内で300万人が犠牲となり、アジア全体で2000万人を殺害した日本軍国主義を忘れない」と通行する人々に訴え続けました。

「戦前学者も戦争に加担させられ、そのため戦後の日本学術会議は軍事ときっぱり手を切って国民のための研究・勧告を行っている、安倍・菅政権は戦前のように変節させようとしている」なども解説しました。

三重 志摩、伊勢、鈴鹿、津の4市でフラワーデモ

性暴力に反対するフラワーデモが11、12日に各地で行われました。三重県では、志摩、伊勢、鈴鹿、津の4市で開催され、計52人が参加しました。

津駅前では「性暴力許さない」の横断幕や花を持ち寄ってスタンディングアピールをしました。参加者は「フラワーデモみえ」呼びかけ人の長田伊央さんのメッセージを代読。「性暴力は人間・特に女性の生命と尊厳の根幹の問題。性被害者がそれを訴えることは命を削る活動であると知ってほしい」と訴えました。

さらに、フラワーデモ公式・全国呼びかけ人の北原みのりさんのメッセージも代読し、群馬県草津町の女性町議のリコールをはじめ、全国的に圧倒的に少数派である女性議員への懲罰が目立つと述べ、極端な男性社会を変えることを訴えました。

鈴鹿市の白子駅前では日本共産党の高橋さつき鈴鹿市議が「人権が守られ、安心して生きられる首魁にしたい」と話しました。

鳥取県憲法会議 憲法会議通信 No. 60 より 短歌・川柳・俳句

◆投稿 < 短歌 > (大久保 港雲)

- 今を生き 希望の明日抱くわれ 野党連合の政権切なり
- 党創立100年 最高の峰で迎えたし ポストコロナも われの卒寿も
- 帰郷せし フォトグラファーの吾子(あこ)なれば
両親(おや)も菜畑に睦(むつ)まじいポーズさせられ

< 川柳 >

- コロナ禍で 世界は一つ 手を結べ
- 答弁は メモ渡されて 口重し
- 橋渡し 何をやったか 言ってごらん

< 俳句 >

- 残菊や いのち一輪に 生かされる
- 寒風に 核禁署名に ペダル踏む
- 水仙や 凜(りん)と直立 早春(はる)に向け

